

経済産業省・日本チェーンドラッグストア協会 ドラッグストア スマート化宣言

発行：日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

ドラッグストア業界は現在、約6.8兆円、1.9万店舗まで成長を続け、2025年の10兆円産業化を目指しています。その実現に向け、新たな役割・機能づくりと生活者の満足を提供するために業界一丸となって活動を進めています。

しかし、ドラッグストア10兆円産業化の達成には、人手不足の深刻化や出店拡大と長時間営業による総労働時間の増加といった課題を乗り越え、セルフメディケーションなどの新たなサービスを生み出すことができるスマートな店舗を実現することが必要です。

これらの課題に対応し、次世代を支えるドラッグストアを実現するため、経済産業省と協力し、スマートストアを目指す共同宣言を発表します。

【経済産業省・日本チェーンドラッグストア協会 共同宣言】

ドラッグストア スマート化宣言

日本チェーンドラッグストア協会は、経済産業省と共同で、スマートストア(※1)の実現を目指します。

スマート化の取組として、まずは電子タグ(RFID)の研究に取りかかります。「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」(※2)の趣旨に同意し、日本チェーンドラッグストア協会としても2025年までに取扱商品に電子タグを実装し、商品の個品管理の実現を目指します。

2018年においては、「成長戦略プロジェクト」を始動し、ドラッグストアにおける電子タグを用いた実証実験を行います。

これらの取組を通じて、単純作業から解放されたスタッフの専門性を高め、サービスの質を向上させます。さらに、電子タグ等のIoT機器から得られたデータを用いて新たな価値の創造に挑戦することで、ドラッグストア10兆円産業化を目指します。

※1:AI、カメラ、RFIDなど様々なツールを用いて流通をデジタル化し、業務効率化やデータ利活用による新たな価値の創造を目指す店舗

※2:経済産業省と大手コンビニ5社が共同で策定した電子タグの活用を目指す宣言

■お問合せ先 日本チェーンドラッグストア協会 事務局

TEL : 045-474-1311 FAX : 045-474-2569

E-mail : sec@jacds.gr.jp